

2025年12月12日

*本リリースは、AUDI AG 配信資料の翻訳版です。

*本資料に記載の装備、諸元データは、いずれもドイツで販売予定のもので、日本仕様とは異なります。

アウディ、5つのモデルシリーズをアップデート： よりエモーショナルで快適に、そして数々の機能を用意

- 新しいハードウェアおよびソフトウェアにより、Audi A5、Q5、A6、A6 e-tron、そしてQ6 e-tronは、そのライフサイクルを通じて最新の状態を維持
- 幅広いイノベーション：改善されたドライビングダイナミクスや新しいドライバーアシスタンス機能から、刷新されたインテリア体験、そして車内ゲームまで
- AUDI AG CTO ブーコ：「これらの包括的なイノベーションは、PPE および PPC の将来性を示している」

(ドイツ本国発表資料) 2025年11月26日、インゴルシュタット/ネッカーズルム：アウディのプレミアム プラットフォーム エレクトリック (PPE) および プレミアム プラットフォーム コンパッショナ (PPC) をベースとする Audi A5、A6、Q5、A6 e-tron、そして Q6 e-tron の各シリーズは、新しいモデルイヤーで包括的なハードウェアおよびソフトウェアのアップデートを行い、新しい機能が追加されます。

AUDI AG 技術開発担当取締役 ジェフリー ブーコ (Geoffrey Bouquot) は「アウディは新しいモデルイヤーにおける主要なモデルシリーズをさらに強化し、お客様に多くの新機能を提供していきます。これらの包括的な革新によって、電動モデル向けの PPE プラットフォーム、および内燃エンジンモデル向けの PPC プラットフォームの将来性を力強く示していきます」と述べています。

多くの新しいハイライトが導入され、ドライビングエクスペリエンスはよりエモーショナルに、直感的に、かつ効率的なものとなります。ハードウェア面では新しいヘッドライトが導入されるほか、ソフトウェア面ではドライバーアシスタンスおよびエンターテインメントのための新機能がアップデートされます。

走行ダイナミクス：よりエモーショナルに、より効率的に

新しいアウディ ドライブセレクトモード「ダイナミックプラス」により、Audi S5 と Audi S6 e-tron のドライバーは、好みに応じて特にエモーショナルなドライビングエクスペリエンスを楽しむことができます。Audi S5 では、標準装備の quattro スポーツディファレンシャルとブレーキトルクベクタリングによりこの体験が可能になります。また、Audi S6 e-tron では、ブレーキトルクベクタリングと組み合った電子制御 quattro 四輪駆動によって実現します。同時に、エレクトリック スタビライゼーション コントロール (ESC) が、自動的にスポーツモードを作動することで、オーバーステアをコントロールすることができます。

このドライブトレインは、アクセルペダルの動きに非常にダイレクトかつ正確に反応する一方で、マニュアルギアチェンジは完全にドライバーの手に委ねられています。運転席側のディスプレイにある特別なダイナミックプラスの画面では、シフトライトや円形の回転計、詳細なスポーツディスプレイを表示し、ドライビングエクスペリエンスをさらに向上させます。

これにより、最大限の横方向のダイナミクスと正確なトラクション、そして思い通りのオーバーステアやドリフトコントロールを可能にし、純粋なドライビングの楽しさと、最大限のコントロール性と安全性を兼ね備えたドライビングエクスペリエンスを実現します。

さらに、アウディ ドライブセレクトアシスタンスも利用可能になります。この機能を有効にすると、ドライバーの個々の運転スタイルや走行状況に合わせてドライブセレクトモードを自動的に最適化します。

また、アウディは電動 PPE モデルの効率を上げ、回生ブレーキの改善も進めています。車両は従来の摩擦ブレーキに切り替えずとも減速、停止までできるようになります。停止までの動きは非常に滑らかで、さらに快適になります。追加で回収される運動エネルギーはエネルギー回生に利用され、効率と航続距離を改善します。

ドライバーアシスタンス：より安全に、より快適に

アダプティブクルーズアシストが高度に進化し、複数のマーケットで利用可能になります。このシステムは、ドライバーの手がステアリングホイールに触れている間のみ車両を車線内にキープするだけでなく、高速道路でのドライバーによる車線変更もサポートします。車線変更が可能な場合、ドライバーがターンシグナルを作動させると、車線変更のアシストが始まり、希望する車線へのステアリング操作を行います。

市街地走行における安全性と快適性は、たとえば道路標識を認識する機能（トラフィックサインレコグニション）によってさらに高まります。トラフィックサインレコグニションの作動中、車両は交通標識に応じて速度を自動的に調整します。また、ルートデータに保存された情報に基づいて一時停止標識、路面の凹凸に関する警告標識、優先通行ルールなども認識し、必要に応じて自動的に減速することが可能です。

モデルイヤーアップデートの一環として、アウディはオプションのパークアシストプロの駐車および操縦機能も拡張します。リバースアシストは、車両後退時に最後の 50m でステアリングを引き受け、特に狭い道路でのバックが容易になります。パークアシストプロは、狭い駐車状況において車両の損傷を防ぐサポートを提供します。特に実用的な機能がトレインドパーキングで、このシステムは、長さ 200m までの駐車操縦パターンを 5 種類まで記憶し、私有地内の駐車を自動的に行います。スマートフォン経由で操作する新しいガレージパーキング機能では、事前に駐車スペースを学習する必要さえありません。「テクノロジーパッケージプロ」に含まれているリモート機能を備えたパーキングアシストプロが必要です。

Audi A6 のデジタルマトリクス LED ヘッドライト

Audi A6 のラインアップにデジタルマトリクス LED ヘッドライトが新たに加わります。新しいマイクロ LED テクノロジーにより、高いレベルのパーソナライゼーションと、適応性が高く高解像度のライティング機能を提供します。これらのヘッドライトは照射性能を大幅に改善し、路面上に強いコントラストを生み出します。これは特に、天候により視界が困難な状況で利点を発揮します。レーンガイダンスとオリエンテーションライトは走行時のレーンセンタリングを支援し、車両が意図せず車線を外れる場合には路面に矢印のシンボルを表示します。路面が滑りやすい状況と予測された場合、氷のシンボルが投影され乗員に注意喚起をします。マーキングライトは、道路の近くにいる人に光を当てることで注意を促します。これらのライトガイダンス機能によって、道路の安全性が向上します。

デジタルマトリクス LED ヘッドライトのさらなるハイライトは、乗降時のダイナミックプロジェクションで、3 種類いずれかを表示し、車両が停止している時でさえも印象的なライトショーを行います。48 セグメントから構成される LED デイタイムランニングライトは、高い視認性を確保します。これらは 8 種類のデジタルライトシグネチャーを生成し、MMI で選択が可能です。これに合わせて、198 セグメントで構成されるデジタル OLED リヤライト 2.0 のテールライトディスプレイも変化します。前後のシグネチャーの多くはアクティブな要素を含み、各エリアがインテリジェントに点滅します。この連続的な動きにより、ライトはダイナミックな外観を生み、強い存在感を与えます。

デジタルマトリクス LED ヘッドライトのアニメーションは、[こちら](#)でご覧いただけます。

インテリアにおける改良点

アップグレードされたモデルに乗り込むと、まず最初に目に入るのは新しいマルチファンクションステアリングホイールです。アウディはバーチャルコックピット内の各種車両機能を操作する従来のタッチ式インターフェイスの一部を、物理的なスイッチへと置き換えます。さらに、内燃エンジンを搭載する

Audi A6 (PPC) には、より体にフィットする新しいシートがフロントに装備され、快適性と横方向のサポートがさらに改善されます。

前述のすべてのモデルには、すでに Audi Q3 でおなじみの新しいユーザーインターフェイスが採用され、簡素化されたアイコンと、明確な構造により操作性が大幅に向上了しました。お客様はアウディバーチャルコクピットで、クラシックな丸型メーター、ナビゲーションビュー、または統合型ドライバーアシストディスプレイという3つの表示モードから選択することができます。アップグレードされたモデルでは、インフォテインメントシステムに、より多くのアウディのスマートフォンインターフェイス機能が統合されます。ユーザーはスマートフォンのナビゲーション、メディア、電話機能を MMI タッチディスプレイだけでなく、アウディ バーチャルコクピットおよび MMI パッセンジャーディスプレイにもミラーリングできるようになります。

アウディ アシスタント：移動中のさらなるインテリジェンス

モデルイヤー変更の一環として、アウディ アシスタントもアップデートされます。セルフラーニングボイスアシストは、AI（人工知能）によって拡大し、新機能が追加されました。アウディ アシスタントはログブック内の情報を参照して、車両に関する詳細な質問に回答できるようになります。

ChatGPT の統合により、さまざまな分野における操作がさらに直感的に行えるようになります。「ライン川が見えるイタリアンレストラン」のような、正確な住所がなく曖昧な表現でも、目的地やエンターテインメントコンテンツを検索できるようになり、より柔軟で快適な検索が行えます。コネクテッドインカーオフィス (connected in-car office) では、リンクされたアカウントを通じて、カレンダーやメールにアクセスできます。アウディ アシスタントはデジタルコンパニオンとして機能し、例えばメールを読み上げたり作成したりすることで、移動中のタスク管理をサポートします。

ドライバーはまた、アクティブルーズアシストやディスタンスコントロールなど、さまざまなドライバーアシストシステムを音声で操作できるようになります。さらに、このシステムは行動パターンを認識し、それらを自動的にルーティンとして取り込むことも可能です。例えば、高速道路でアクティブルーズアシストを作動したり、踏切や高い縁石を通過する際にリフト機能で車両を持ち上げるなどが挙げられます。

すべてを見守る：アウディは高解像度ダッシュカムを搭載

ダッシュカムがオプションとしてラインナップへ新たに追加されます。このカメラは、インテリアミラーのベース部分に直接統合されており、高解像度の 4K 動画を撮影し、車両前方のすべての動きを記録します。ハイダイナミックレンジ (HDR) テクノロジーと高感度センサーによって、光源が制限された条件下でも詳細な映像を記録します。写真および動画撮影は、センターディスプレイ上の専用アプリにより簡単に開始および停止できます。イベント機能は特に実用的で、連続するリングバッファ録画を採用しています。通常は手動、事故発生時は自動で起動し、その前後 30 秒の映像を保存します。

ハザード警告灯の作動や緊急ブレーキなどの操作によって自動録画を開始することも可能です。すべてのデータと録画は車両外に転送されることなく、SD カードでのローカル保存のみ可能です。

画像および動画に加えて、ナビゲーションデータ、速度、時刻も記録されます。すべての画像と録画は、センターディスプレイ上にラージフォーマットで表示できます。

イマーシブ（没入型）「エクスペリエンスワールド」とさらなるゲーミングの楽しさ

アウディの新しい「エクスペリエンスワールド」では、インテリアライティング、サウンド、マッサージ機能、空調設定を使用した、テラーメードのムードシナリオを導入し、車内をリフレッシュしたりリラックスした雰囲気に調整します。モデルイヤー開始時点では、アクティベーティング (Activating)、リラックス (Relaxing)、ハーモナイジング (Harmonizing) のシナリオを利用できます。起動後 10 分から 20 分の間持続し、走行中は車両の動きに自動的に適応します。完全電動モデルには、パワーナップ

(Power Nap) モードも搭載され、充電中などの短い休憩時間に落ち着いた休息の雰囲気を作り出します。

PPE および PPC モデルのアップデートにより、車内ゲームをこれまで以上にお楽しみいただけます。コントローラーを Bluetooth 経由でシステムに接続することで、「アスファルト：Legends」などのゲームをさらに手軽にプレイできるようになります。また、ワイヤレスヘッドホンを Bluetooth 経由で接続し、運転者や他の乗客の邪魔をすることなく、エンターテインメントサウンドを存分に楽しむことも可能です。MMI パッセンジャー・ディスプレイのアクティブ・プライバシー・モードと組み合わせるとさらに魅力的です。アウディ アプリケーションストアでは「Queen：ロックツアーア」などのゲームも利用できます。

フォルクスワーゲン グループ ジャパン株式会社
アウディ ジャパン 広報部

アウディ ジャパン プレスサイト
<http://www.audi-press.jp/>

報道関係者お問い合わせ：
<https://audi-press.jp/contact/>

お客様問い合わせ：
アウディ コミュニケーション センター
0120 - 598106



アウディ グループは、プレミアムおよびラグジュアリーセグメントにおいて最も成功している自動車・モーターサイクルメーカーの一つです。アウディ、ペントレー、ランボルギーニ、ドゥカティの4ブランドは12カ国・21カ所の生産拠点で製造を行っています。アウディとそのパートナーは世界100以上の市場に展開し、2024年、アウディ グループは約170万台のアウディ、10,643台のペントレー、10,687台のランボルギーニ、54,495台のドゥカティモーターサイクルを販売しました。2024年度の売上高は645億ユーロ、営業利益は39億ユーロを計上し、12月31日時点での従業員数は在籍、そのうち53,000人以上がドイツのAUDI AGに勤務しています。アウディ グループは、魅力的なブランドと多彩な新型モデルを展開しながら、持続可能で完全にネットワーク化された、プレミアムモビリティのプロバイダーへの道を体系的に進んでいます。
